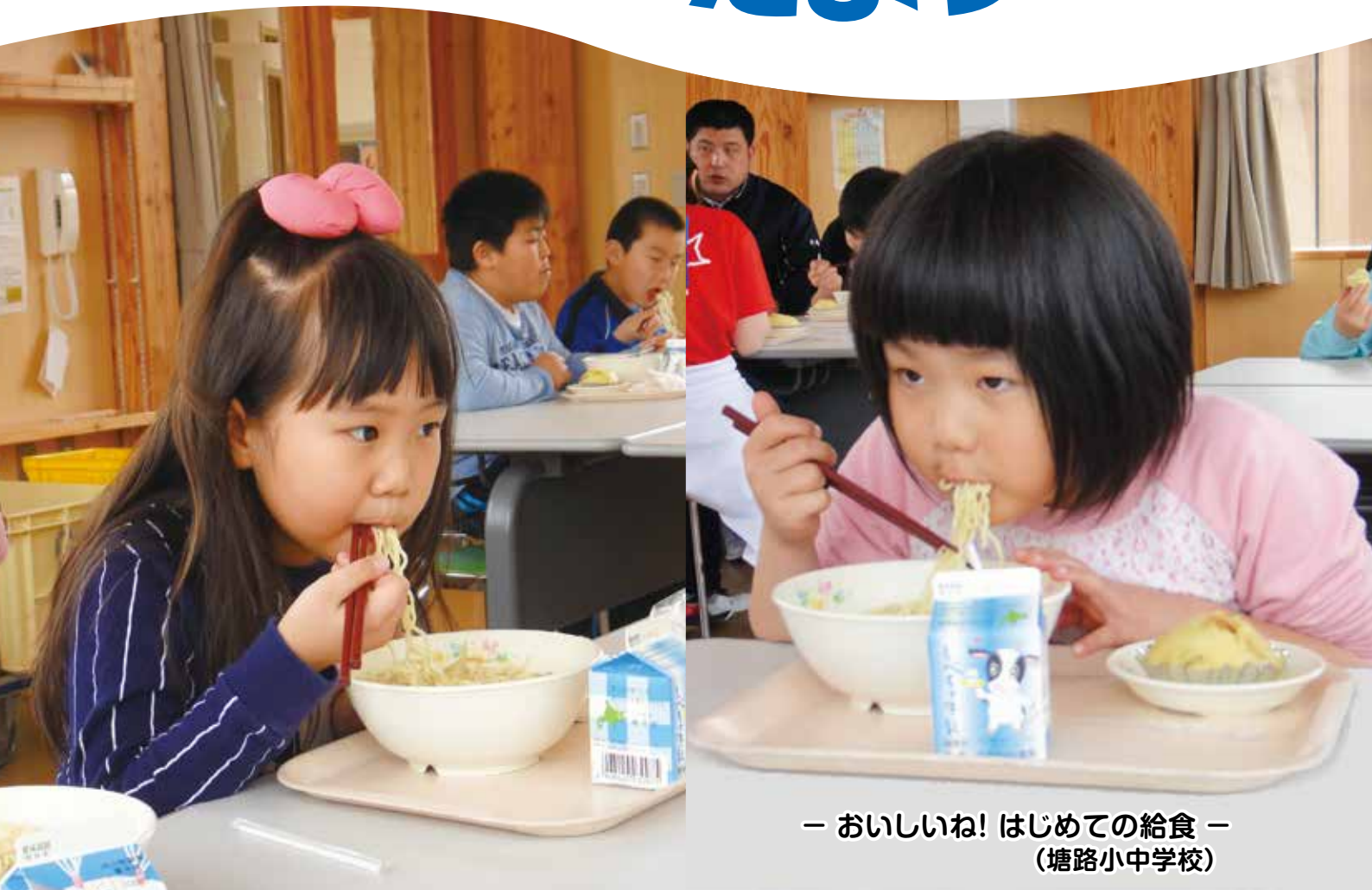


# しべちゃ 議会 だより



— おいしいね! はじめての給食 —  
(塘路小中学校)

第102号

平成28年 5月1日発行

発行/標茶町議会  
編集/広報調査特別委員会  
電話/(015) 485-2111  
住所/標茶町川上4丁目2番地

## 3月第1回定例会 (3月4日~10日)

平成28年度各会計予算を決定

一般会計で111億6,200万円

一般質問 **町政を問う** 7名11件の質問

意見書6件

診療報酬を下げず、地域医療を守ることを求める等

平成27年度補正予算

第4回臨時会 (12月28日)

総額 161億5,810万2千円

■ 一般会計 111億6,200万円

■ 特別会計 35億6,716万2千円

(国民健康保険・下水道・介護保険・後期高齢者医療)

■ 企業会計 14億2,894万

(病院事業・上水道事業)

平成二十八年  
第一回定例会  
予算可決

主な  
新規事業

- 子ども医療費助成事業 高校生まで拡大
- 子育て応援給付金 1歳～6歳まで3万円(継続)
- 町営住宅建て替え事業(桜南団地、磯分内団地)
- 最終処分場整備事業
- クリーンセンター焼却場
- 食肉加工処理施設整備事業

条例の制定

- 行政不服審査法の改正に伴う関係条例の制定について

条文中の「不服申立て」を「審査請求」と文言を改正し、今までの行政に対する不服申し立てをより簡素化する内容に改正するものです。

条例の一部改正

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- など関連条例4件

人事院勧告に準拠し、給与等4件の条例を一部改正するものです。

- 標茶町公民館条例の一部を改正する条例の制定について

磯分内公民館分館閉館により改正するものです。



磯分内公民館分館

- 標茶町工業等開発促進条例の一部を改正する条例の制定について

条例の効力を28年3月31日を平成33年3月31日に改めるものです。

- 標茶町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める一部を改正する条例の制定について

サービスにデイサービスを追加するものです。

議案

- 議案第1号

標茶町過疎地域自立促進市町村計画の策定について

計画を平成33年3月まで延長することにより、新たに策定するもので、議会はこれを可決しました。

- 議案第2号

公の施設に係る指定管理者の指定について

標茶町農業研修センターの指定管理者、株式会社TACSUべちの指定期間を平成28年4月1日から平成31年3月31日とするものです。

# 町政を問う

## その他の「一般質問」

渡邊 定之 議員

**移動支援事業を拡充し、就学児童、生徒の移動支援の開始を**

**答** 一時的にこれらの支援が必要となる場合については、例えば、保護者や親族などが疾病や事故などにより支援が困難となる場合に対応し、緊急措置として一時的に支援を行えるよう想定している。緊急的な対応が必要な場合については、対応が可能ななどそれぞれのケースで判断をしたい。

## TPPについて町は町民に情報提供をすべき

渡邊 定之 議員

### 町長 関係者と連携し必要であれば進めたい

**問** TPP大筋合意後の国内対策等について聞く。農水省は、大筋合意の内容を説明する意見交換会を各地で行ってきたが、参加者からは不十分であるとの声が多く出ている。予算付けの話ばかりが先行しているという点で、町長の所見を伺う。

と思うがどうか。

また、TPPによって大きな影響が出るとされている酪農、畜産において本町の影響について伺う。

さらに、情報提供が不十分であるといわれているが、町として積極的にこの情報を手直し、講演会等を開き町民に知らせる努力をするべきではないか

**答** TPP大筋合意後、農水省の説明が、不十分であるとか予算付けの話ばかりが先行しているとの意見があるということは新聞等で私も承知しているが、国の方針は交渉の結果に従ってTPPを推進するに当たり農業を続けていけなくなるのではとの大きな不安を持つ生産者の不安を払拭し、理解を求めるところを第一としたことから対策実施とセットでの説明になったものと理解している。

影響額については、町独自で算出することは困難である。

講演会等や情報提供については、関係者とりわけ生産者団体であるJAと歩調を合わせ進めることが肝要と考えている。

**問** 「標準茶町地域生活支援事業実施規則」に「地域における自立生活及び社会参加を促進することを目的とする。」と定められている。しかし、現行規則では、「原則として通勤・通学・通所等は行わないが、一時的にこれらの支援が必要となる場合については、提供できるもの」となっている。

義務教育なので、その就学について差が生じてはならないと考える。自力で通学が困難な児童、生徒について、町の福祉の支援が必要と考えるがどうか。

**答** 児童生徒の登下校に関しては、障がいの有無や経済的理由等に関わらず、現状ではすべての児童生徒が自ら通学することを原則としているので移動支援はできない。



**問**

本町に於ける入植開拓の歴史は明治より昭和20年代まで全町で行われ未開の地であるがゆえに国は集団入植を奨励し集落を形成させ地域開発に力を注いできたと理解している。農地境界あるいは道路を確保する目的等で号線敷地を現地確認することなく机上で線引をし図面上で国有敷地

本多 耕平 議員

号線敷地を町所管に権限移譲すべき

町長 町・農業委員会は指導、助言に努める

（号線）を確保してきたと思われる。時代変化の中で実情には目的にそぐわない号線が多く実在している。本町にはどの程度国有地として実存しているのか、今後様々な農業振興施策が進められてくることが予想される時、号線が点在していることによる支障は発生していないのか。農業者が個人的に取得するには多くの時間と経費が必要であり本町の農業振興をさらにスピーディーに進める為に省庁所管になっている号線を標茶町に権限移譲すべきと考え町長の所見を

伺う。

**答**

号線敷地が点在し、面積は1,021ヘクタールと確認しているが、今日まで草地造成等で問題になった事はない。今後の号線を含めての草地造成等は取得手続きが必要となる。号線の本町への権限移譲については、困難であると思う。

国有地の取得に関する相談は、町及び農業委員会として指導、助言に努めるとともに事務処理をスムーズに進めるために、農協・受益者等も加え知恵を出し合い進めていきたい。



**問**

昨年4月、農業研修センター（農業校）が開設、運営されて1年が経過しようとしている。開設当初から多方面で報道、紹介され全道各地から視察が続いており、この事業を行った意義は大変大きなものがあった。基幹産業酪農では、離農に歯止めがかからず、この対策は急務である。

松下 哲也 議員

農業担い手確保の強化を

町長 今後の状況を踏まえて対応する

根釧酪農ビジョン推進会議でも示されているが担い手確保に向けて各地で積極的な取り組みがされて来ている。研修センターの更なる充実、特に宿泊施設を増やすべきと考えるが、今後の取り組みについて次の点について伺う。

- 一、担い手確保に向けた取り組みの状況。
- 二、新規就農支援関連で特に財政的支援（就農、経営安定）では、年に何戸まで可能か、また戸数を増やす事は可能か。

三、JAと連携を図り、世帯者用宿泊施設を増やす考えはないか。

**答**

町担い手育成協議会の専門部会を7回開催し、新規就農希望者の確保を目的に新・農業人フェアに毎回出展し計画的な人材確保を行っている。

就農後の支援はリース料金の4分の1としており、1件当たり200万円程度となる。順調に推移すると年間8組に対する支援となる。情勢変化によってはJAと協議し対策を検討する。

世帯用住宅の増設は就農先確保とセットで対策しなければならず協議に至っていない。逆に単身の男性、女性の相談が増えており、その対応について検討している。



TACS しべちゃの搾乳牛

## 休日の保育と病児保育の実施について

鈴木 裕美  
議員

### 町長 病児保育は検討していく

本町の少子化動向は、平成2年の年少人口と比べると平成26年までの24年間で約半数まで減少しており、少子化が進行していると言える。子ども子育て支援事業計画では休日の保育事業については計画がありません。また、病児保育事業は検討材料となっている。安心して子どもを育

**問** 昨年3月にまとめられた子ども子育て支援事業計画策定のため、の二一ス調査結果報告書によると、子どもの日曜日保育の利用希望について回答者の26%が日曜日保育の利用意向があった。

また、子どもが病気やケガで利用できない保育に保育施設等を利用したいとの意向も父母が休んで対応したと回答した方々の45.7%の利用意向があった。平成28年度も継続事業であるが、子育て支援対策にも積極的に取り組むことが発表された。



おいしいね!

てられる環境づくりとして、休日保育及び病児保育事業の実施をすべきと考えるがいかがか。

**答** 休日保育は昨年10月より社会福祉協議会の中に子育てサポートセンターまーぶるが開設となり、子育て事業が開始され、休日に子どもを預かる体制が整った。実際の利用は少ないが社会福祉協議会と連携を図り子育てしやすい環境づくりに努めていく。病児保育の実施は保育士及び看護師の確保、小児科の医師が巡回でき緊急時連絡体制のとれる医師の確保が必要である。条件整備が難しいと認識しているが検討していく。

## ふるさと納税への取り組みについて

熊谷 善行  
議員

### 町長 できるだけ対応をしていく

ふるさと納税枠が約2倍になった。「ふるさと納税ワンストップ特例制度、5つの自治体までのふるさと納税は控除に必要な確定申告が不要に。」と記載されている。

前記を踏まえ3点について聞か、

①平成26年度の寄付件数と寄付金額の実績。

**問** 「平成27年度税制改正大綱」において、「ふるさと納税を促進し地方創生を推進するため、個人住民税の特例控除額の上限の引き上げを行うとともに、確定申告が不要な給与所得者等がふるさと納税を簡素な手続きで行える『ふるさと納税ワンストップ特例制度』を創設。あわせて、地方公共団体に対し、返礼品等の送付について寄付金控除の趣旨を踏まえた良識ある対応を要請する。」とされ、ふるさと納税ポータルサイトにも、「特例控除額上限を引き上げ、ふるさと納税枠が約2倍になった。」とふるさと納税ワンストップ特例制度、5つの自治体までのふるさと納税は控除に必要な確定申告が不要に。」と記載されている。

②特例控除の上限額の引き上げ、ふるさと納税ワンストップ特例制度の受けとめと、今後、ふるさと納税を募集する取り組みを推進するか。

③取り組みするとした場合、寄付金の活用事業や返礼品の内容をどうするか。

**答** 26年度実績では、現金では3件で35,000円、その他宅地等を含めると17件となっている。

特例控除の引き上げとワンストップ特例制度については、利便性の向上と捉える一方、過剰な返礼品合戦に拍車をかけないか、危惧するところである。

ふるさと納税は、寄付という本来の精神を大切に、特典をもって誘導する考えはない。ただし、郷土館の建物の維持補修等まちづくりに必要な事業を提示し、賛同していただける方に対し返礼品の検討をしている。



その他の一般質問

熊谷 善行 議員

虹別市街地の遊休町有地の活用について

問 虹別地域の農業生産に係る従業員は新たな農業生産法人の生産開始もあり、さらに増加すると考える。

現在、従業員が居住するための住宅が不足しており、域外及び町外から多くの従業員が通勤している。民間事業者や一般住宅などの公平性の問題はあがるが、何らかの優遇措置はないか。

遊休町有地の有効活用により、基幹産業の成長に資するとともに、定住者の増加により地域の活性化が図られると思うがいかがか。

答 公営住宅については、町全体の計画そのもの見直しが必要であり困難である。遊休町有地については、公平性を保ちながら適正に処分する方針である。また、用地の確定が必要な場合、道路の確定等必要な措置をとる。農業生産に係る従業員に特化しての優遇措置は困難であ

る。遊休町有地の有効活用は、基幹産業の成長、地域の活性化、地方創生戦略に通じるものと考ええる。本町における住宅政策と地域特性を考慮しながら対応していく。

迪 議員 深見

介護サービスの後退をさせない施策を

町長 サービス低下、負担増にならぬよう進めたい

問 要支援1、2の給付サービスの一部が、市町村の事業へと移行することになるが、本町の開始時期はいつ頃を予定しているか。

その際サービスの低下がおきないような対策はできているか。また、利用者の負担増は発生しないか。

新事業の報酬については、各市町村が独自に設定することができるようになっているが、現行どおり行うべきではないか。

厚生労働省は、要介護1、2の利用者から生活援助の介護サービスを切り離す方針を明らかにした。要介護者の生活援助は、自立を

目標にしているものである。この生活援助を取り上げるとは、その自立を妨げ、要介護者の重度化、悪化を招きかねないと考ええるが、町長の所見を伺う。

また、このことが実施されれば、要介護1、2の利用者は、介護費用を全額自己負担することになる。そのような場合、町としてはどのような方針で臨むか町長の所見を伺う。



答 開始時期は、平成28年度中の開始を目指して準備を進めている。利用者のサービス低下、負担増は発生しないよう進めていきたい。報酬も現行どおりとすることで検討している。

要介護1、2のサービスについては、今後の厚生労働省の動向を注視していきたい。

利用者の介護費用の全額負担については、まだ、正式な通知等は来ていないが、望ましい形ではないと認識している。

その他の一般質問

深見 迪 議員

「道徳の教科化」ではなく、憲法にそった道徳教育の創造を

問 文部科学省は、「道徳の教科化」を決めたが、今後どのような日程で進むのか。

およそ倫理観、道徳観というもの、個々の児童生徒の内心の自由にゆだねられるものと考えられるがどうか。

**教科書選択方法、選定審議会、教員の調査員に不正はなかったか**

**問** 教科書採択に係る金銭の絡んだ不正が明るみに出た。標茶町を含む第13区にこのような不正の事実があったのか。

教科書化されれば、当然他の教科と同じように評価しなければならぬ。どのような基準で、また、どのような方法で評価するのか伺う。さらに、道徳のように内心に係る内容を教科化したら、ある一定の基準で評価するというのは教育的にはそぐわないと考えるがどうか。

**答** 今後の日程については、小学校は平成30年、中学校は平成31年から、教科道徳として実施される。道徳性は、議員指摘のとおり児童生徒の内心の自由ゆだねるものであり、特定の価値観を押し付けたり言われるままに行動したり指導したりすることは断じてあってはならない事と考えている。

評価については、道徳性は、数値等によって不用意に評価してはならないと考えている。

**問** 北海道教育委員会は事実確認をした上、文科省に報告すると報道されているが、これに係る事実確認調査は標茶町でも行われたか。

行われたとすればその結果はどうであったのか。

**答** 今回新聞報道等であった事案については、現在該当事案がある市町村教育委員会においては、事実関係の調査を行っているところである。

本町においては、一事案について事実確認を行った。

管内の町村教育委員会が共同で設置している第13教科用図書採択委員会協議会において、教科書採択基準に基づき適正かつ公正に運営されているものと考えている。

また、教科書会社と教員の癒着に関する認識については、教科書採択に当たり教科書発行者と教員との間で、何らかの影響を及ぼす行為等は考えられないと認識をしている。

**バイオガスによる発電事業を導入して、活用都市宣言を**

一隆 櫻井 議員

**町長 農家の理解を得つつ、事業の展開を図る**

**問** 福島原発事故から早くも5年、多くの人が故郷にも帰れず、いまだに避難所で不自由な生活を余儀なくされている。しかし、国は老朽化した高浜原発の再稼働をさせようとしている。そんな中でも全体的に脱原発の動きが活発になり再生可能エネルギーの再稼働をさせよう

としている。そんな中でも全体的に脱原発の動きが活発になり再生可能エネルギーの再稼働をさせようとする。そんな中でも全体的に脱原発の動きが活発になり再生可能エネルギーの再稼働をさせようとする。そんな中でも全体的に脱原発の動きが活発になり再生可能エネルギーの再稼働をさせようとする。

畜が飼われており多くの家畜糞尿が排出されている。今年2月16日にはJA標茶において説明会も開かれた。

町長は、自らが先頭に立ち、農協と協力をして、酪農家の環境対策と地産地消による地域分散型バイオマス発電に取り組んではどうか考えを伺いたい。

今後は、「標茶町エコヴィレッジ推進委員会」を核として議論を重ね、各農家の理解を得るが、事業の展開を図っていききたい。

**答** 家畜糞尿の適正管理と有効活用は不可欠な課題である。平成12年に新エネルギービジョンを策定し、平成24年には「標茶町エコヴィレッジ推進協議会」を設立した。今年度、「標茶町バイオマス産業都市構想策定委託申請業務」を実施し、近日中に結果が得られることになっており、導入の可能性を確認しつつ、事業の検討とその手法を探り、国の計画認定と有利な事業制度の模索を行っている。

今後は、「標茶町エコヴィレッジ推進委員会」を核として議論を重ね、各農家の理解を得るが、事業の展開を図っていききたい。



予算審査特別委員会  
総括質疑

川村多美男 議員

はうがい、手洗いと考える。今週、標茶中学校一、二年生の学級閉鎖を行った。

的負担が大きい大学生まで拡大すべきた。

退職自衛官をエゾ鹿駆除等に数名採用してはどうか。

**問** 子宮頸がんワクチン接種は、平成13年度に定期接種化になったが、3年間で接種後、重篤症状が報告された事例はあるか。

**答** 今後の検討課題としたい。  
**問** お試し暮らしで定住に結びついだ例はあるか。

**答** 臨時職員として採用している。  
**問** 標茶産牛乳は、農協店舗のほかにも販売しているか。

**問** 電気料金削減のため、公共施設の電力多消費施設のLED化を提言したが、どの程度LED化されたのか。

**答** これまで医療機関から重篤な症状の報告は無い。

**答** これまで一件である。  
**問** お試し暮らしで来た人をそのまま帰さず、標茶に移住された人と意見交換の場を設けてはどうか。

**答** 町内のフクハラで販売している。  
**問** ミルククックさんとハッピーくらべえの着ぐるみの活用はどのようか。

**答** 学校の建て替え、街灯も含め推進してきた。

**問** 医療費の助成事業として高校生まで拡充し、商品券で還付することのだが、すべての小中高生が還付対象か。

**答** 商工会青年部や観光係職員とアンケート等を行っている。

**答** いろいろなか場で牛乳の販売促進を進めている。

**問** 4月から電力自由化が始まるが、公共施設のさらなるコスト削減を図る上からも安い電力会社への乗り換えをすべきと考えるがどうか。

**答** 標茶町住民台帳に登録されている父母の子どもが対象になる。

**問** 町内で熊による人的被害も発生している。熊及びエゾ鹿駆除実績はどうか。

**答** いろいろなか場で牛乳の販売促進を進めている。

**答** 現在、北電以外を考えていないが、今後検討していく。

**問** 対象者が医療費を窓口で一旦払うのか、また、端数が出た場合はどうなるのか。

**答** 熊は、平成26年度3頭、27年度5頭。エゾ鹿は、平成26年度2053頭、27年度は現時点で2037頭駆除している。

**問** ミルククックさんとハッピーくらべえのシルやマグネット、コップのフチ子さんのようなものを作り、牛乳の宣伝と販売につなげていくべきだ。

**問** 幼保園児及び小中学生のインフルエンザ感染予防対策はどのようか。また、学級閉鎖等の事例はあるか。

**答** 窓口で領収書を提出し、ポイントカードに記載する。端数も次回に合わせて記載する。

**問** エキノコックス対策からもキツネ駆除も実施すべきだ。

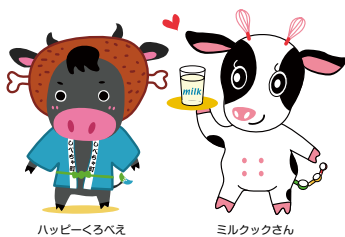
**答** 手法については参考にしていきたいながら町民、各団体の協力を得ながら進めていきたい。

**答** 対策は、各学校でマニュアルに沿って行っている。基本的に

**問** 子育て世代の経済的な負担軽減をすることのだが、更に経済

**答** キツネ駆除はワナで行っていく。

**答** 手法については参考にしていきたいながら町民、各団体の協力を得ながら進めていきたい。



ハッピーくらべえ

ミルククックさん



平川 昌昭 議員

**問** 北海道から土砂災害等の特別警戒地として4カ所指定され、二次災害も懸念されるが、対策はどのように協議されているのか。

**答** 指定された地域については、関係機関で巡回など対応をしている。

**問** 標茶小学校グラウンド脇のり面の補修対策を。

**答** 校舎と離れていて木も生えているので、学校と協議しながら気を付けていきたい。

**問** 統合型GIS（地理情報システム）運用実施の成果と今後の施策を聞く。

**答** 地籍や町道、水道等、農地でも多く活用している。住民へのサービス向上になっている。

**問** 準用河川、普通河川の改修や流木、支障木の除去をどう実施しているか。

**答** 支障木は、スガワラ川については撤去した。それ以外についても住民情報があったら撤去する。



**問** GOGOチャレンジショップ支援事業のこれまでの要望と対応は。また、規則定義の見直しをすべきではないか。

**答** 振興条例との整合性をとってきた。見直し、継続については今後検討していきたい。

鈴木 裕美 議員

**問** 徘徊痴呆性高齢等検索機器助成とは何か。認知症の人を町ぐるみで見守る具体策が必要ではないか。



**答** SOSネットワークを再構成しており登録制度を利用し住民に周知していく。

**問** 特定不妊治療助成が拡大されたが、不育症（流産）治療も助成対象とするべきではないか

**答** 道の要綱に沿って補助事業に上乘せする事になる。

渡邊 定之 議員

**問** 虹別の木工工房、陶芸工房の施設が老朽化しているが、いつ新施設に移転できるか。

**答** 両団体の意見を十分聞き、28年度の秋ごろをめどに代替え施設の整備を行いたい。

**問** 健康づくり指導員のレベルアップ、新しい人材育成を。

**答** ゲーム等の技術力向上も考えている。平成29年度に養成講座を行う。



黒沼 俊幸 議員

病院の開催目的、要望等はどの様  
だったのか。

**問** 阿歴内墓園に通じる町道の約  
400メートルの改良工事が必  
要である。町政懇談会で何度も要望  
している。しっかり対応すべき。

**答** 阿歴内墓園道路の奥に牧野、山  
林があり、大型車が通行した為  
道路が傷んだものと思われる。補修  
に努めていく。

**問** 本町に建設予定の食肉加工セン  
ターは国の補助制度を活用する  
計画である。従来の活性化プロジェ  
クトに変わって「強い農業づくり交  
付金制度」を申請する考えと聞くが  
見通しは。

**答** 食肉加工センターの廃水処理の  
方法が地下150m付近に地下  
浸透することが可能となったので本  
年6月頃までに実施設計に踏み切  
り、平成29年度の「強い農業づくり  
交付金」を申請する計画だ。

**問** 町立病院主催で、平成27年10月  
に各地で7ヶ所懇談会を開催し  
てNo.

櫻井 一隆 議員

町民の方々から本町唯一の診療  
機関として絶対必要である。年  
老いたら病院が近くにあること。最  
後は「やすらぎ園」と思っている  
の意見があり、病院経営が大変でも、  
医師がいないと困るなど意見があり  
懇談会をやって良かったとの理解が  
得られた。

**問** 標茶駅前コインロッカーを設  
置してはどうか。

**答** 商工会で無料預かりを実施して  
いた。コインロッカーの設置の  
考えはない。

**問** 食肉加工場の着工から完成まで  
の期間をもっと短縮できな  
い。

**答** できるだけ早くできるよう努力  
したい。

**問** 牛白血病に対する強い抵抗性の  
ある受精卵・卵巣の活用が必要  
ではないか。

**答** 牛白血病は、人の白血病とは全  
く違う。  
安全安心な牛乳提供のため、新し  
い食肉センターの中で取り組んでい  
きたい。

**問** 塘路駅前トイレを冬期間も使用  
可能にすべき。



**答** 現状、物理的に冬場の使用は困  
難である。今後関係者とも協議  
していきたい。

本多 耕平 議員

**問** サルボ、サルルン展望台へいた  
る通路の補修工事を早くすべき  
では。



**答** 木道の改修復旧は難しいとの回  
答であった。環境省に、つ回路  
の変更を含め改善を要請している。

**問** しべちや斎場施設周辺の環境整  
備を。

**答** 28年度は町道の右側900㎡  
を緑地化して管理していきたい。

**問** 統廃合による旧校舎の利活用を早く検討すべき。

**答** 利活用については、地域の要望や活用計画を優先としている。

**問** 空き家となっている教員住宅の利活用を検討すべきでは。

**答** 閉校後の教員住宅は町有財産にして貸しつけの計画を持っている。今後も空き家を出さないように努力していく。

松下 哲也 議員

**問** 農業委員会委員の「選任制」への変更に伴い、実施に向けた基本的な考えを聞く。

**答** 推薦、公募の手続きについて、関係機関と協議していく。

**問** しべちや斎場の遺族控室に電子レンジを設置してはどうか。

**答** 指定管理者の意見を聞いて検討していく。

深見 迪 議員

**問** 電力自由化に対して町はどのように対応するのか。

**答** 現在検討中であるが、電気料費用削減、業者の安定性、クリーンエネルギーを基準に検討している。



**問** 後期高齢者保険の特例軽減が廃止されようとしているが本町の影響人数と影響額を示せ。また、不利益にならないよう意見具申すべきではないか。

**答** 影響人数は、1,134名、影響額は1,200万円となる。広域連合議会では急激な負担増を避けるよう国に対して要望していくところだ。

**問** 駅バス停留所ターミナルのトイレに、戸をつけ、周辺の整備を。

**答** 早急に現地を確認し、検討していく。

**問** 標茶町に定住を希望している若者へ特化した住宅政策を。

**答** 基本的には若い人たちがぜひ標茶に住んでもらえる状況は意識していきたい。

後藤 勲 議員

**問** 青少年体育館の解体費を、なぜ役場の旧独身寮解体に変更したのか。

**答** 地域から独身寮が危険であると の要請があり、そちらの解体を優先させた。

**問** 大雪時の除雪対策として、高齢者宅の車の所有者から先に除雪をすべきではないか。

**答** 施設の老朽化等もあり、大浴場については検討課題とし、また、町内の民間施設の活用についても検討している。



**答** 福祉除雪については、高齢者の安全と生活の確保のため、玄関までの手作業での除雪を中心に行っている。

**問** 町内公共施設の案内看板を改善し、増やしてはどうか。

**答** 引き続き、都市計画審議会等の意見を聞きながら検討していく。

**問** 敬老パスでの「ふれあい交流センター」の入浴方法の改善をしようか。

**答** 施設の老朽化等もあり、大浴場については検討課題とし、また、町内の民間施設の活用についても検討している。

# 委員会報告

総務経済委員会  
所管事務調査報告

## ○調査日時

平成28年2月25日

## ○調査場所

標茶町役場議員室

## 1. 調査事項

本町の今後の町営住宅について

## 2. 出席者

本多耕平委員長、櫻井一隆副委員長、黒沼治俊幸委員、松下哲也委員、渡邊定之委員、平川昌昭委員

説明員 中村義人管理課長、溜田幸仁管財係長、狩野克則建設課長、相原一久建設課長補佐、斉藤昇一建築係長

事務局 佐藤事務局長、中島事務局長

## 3. 調査の経過及び内容

① 団地ごとの建設年度、構造、戸数、入居状況  
② 今後における一般的修繕の予定、長寿命化事業の予定、建替えの予定等に

ついて管理課、建設課より説明を受け質疑を行った。

## 4. 委員会の所見

① 本町における公営住宅管理戸数486戸うち政策空家37戸を除くと446入居世帯で99.3%の入居率となっている。今後とも民間事業者への圧迫をさけながらも長寿命化事業計画にそった管理戸数を維持して行くべきと考えらる。

② 建替えの構造等については、高齢者・障がい者が安心して居住できる構造的環境に配慮すべきである。

③ 団地住民の意見集約を年一度アンケートに基づいて行っていると聞くと明文化に管理人を置くこと明文されているので、管理人を中心として住民の意見集約をすべきである。

④ 本町に於ける29戸の町民住宅の存在は貴重なものである、特に団地地域外においての必要性が今後ますます予想される。教員住宅の空家の有効利用を最大限生かすため、教

育委員会との連携を十分に図り、住民要望のある時はスピーディーに対処していくべきと考えらる。



## 厚生文教委員会 所管事務調査報告

## ○調査日時

平成28年2月18日

## ○調査場所

標茶町役場議員室

## 1. 調査事項

本町の廃棄物処理について

## 2. 出席者

熊谷善行委員長 深見迪副委員長 後藤勲委員 川村多美男委員 鈴木裕美委員 菊地誠道委員

説明員 松本修住民課長 菊地学環境衛生係長

## 3. 調査の経過及び内容

資料に基づきエネルギー回収推進施設及び第2期最終処分場の現況と実施計画、

その他について説明を受けた。主な説明  
・エネルギー回収推進施設の現況と実施計画

平成27年11月26日、14億9,040万円で三井造船環境エンジニアリング株式会社と契約締結(同日臨時議会で可決)。

今後の実施計画は、平成28年度、杭・基礎工事、平成29年度、建築・外構工事、30年1月〜試運転、30年4月1日供用開始の予定である。

・第2期最終処分場の現況と実施計画

27年7月2日〜28年2月3日にかけて、汚水協事務局、釧路漁連、釧路市上下水道部、町建設課等と5回にわたり河川協議を行った。今後、汚水協との協定書、釧路市との同意書締結を予定している。

## ・ごみ発生抑制と計画

リデュース、リユース、リサイクルの3R、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法等の説明とごみの発生抑制の取り組みについて説明を受けた。さらに、

一般家庭から排出されるおむつ等の無料回収も検討中であることが話された。

## ◆委員会所見

① 廃棄物処理施設の新建設について、約15億円の巨費を投じることも含め、「広報しべちゃ」でのお知らせだけではなく分別収集についての住民の協力、本町の環境問題やディスプレイ補助や小型家電リサイクル法の周知やリサイクル率向上等について、住民の意見を聞き、理解を深めるための町内会、地域振興会、業者等との懇談・説明会を開くことが必要である。

② リデュース(ごみの発生抑制)について、それを町内業者や住民だけに求めるのではなく、生産業者の負うべき義務や任務について研究し、ごみの発生抑制について認識を新たにし必要な意見具申もしていくべきである。その点で、大量生産、大量消費、大量廃棄の悪循環を地域からも考えていく必要がある。

# 平成28年第1回定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井一隆	後藤勲	熊谷善行	深見迪	黒沼俊之	松下哲也	川村多美男	渡邊定之	鈴木裕美	平川昌昭	本多耕平	菊地誠道	館田賢治	結果
意見書案第3号 再犯防止対策に関する支援の充実を求める意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		原案可決
意見書案第5号 雇用の安定を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

## 意見書

次の件の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

◆意見書第一号  
高等教育段階における学生等への経済的支援の充実を求める意見書

家庭の経済的能力に関わらず、全ての若者が質の高い教育を受けられるよう、無利子奨学金の充実、返済が不要な給付型奨学金制度の導入などを求めたものです。

◆意見書第二号  
診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

医療機関の経営、公立病院の経営を守り、安心して住み続けることができるよう診療報酬の引き下げを行わず、公立病院の運営に対する地方財政措置の充実・確保を求めたものです。

◆意見書第三号  
再犯防止対策に関する支援の充実を求める意見書

罪を犯した人の再犯を減らし、安全・安心な社会をつくるため、更生保護施設の充実・支援、保護観察官、保護司の人材確保や処遇改善等を求めたものです。

◆意見書第四号  
子育て支援の拡充を求める意見書

保育所や学童保育の量の拡大や質の改善、子どもの貧困対策、虐待防止のための施策の強化などを求めたものです。

◆意見書第六号  
介護保険の生活援助サービスの制限中止に関する意見書

要介護1、2の人たちの介護サービスから、生活援助サービスを除外しないように求めたものです。

次の一件の意見書が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

◆意見書第五号  
雇用の安定を求める意見書

雇用の安定、正社員と派遣労働者の均等待遇、過労死防止施策の総合的な推進、長時間労働の是正のための実効性ある対策等を求めたものです。

## 平成二十七年度 補正予算可決

補正後の一般会計予算額は123億8,858万8千円となりました。

平成27年度補正予算は、一般会計9,632万4千円の増額をはじめ、国民健康保険、下水道、介護保険の各特別会計、病院、水道の各企業会計の補正があり、いずれも議会はこれを可決しました。

第一回定例会 議会公日誌から

十二月二十八日	第4回臨時会
一月十三日	広報調査特別委員会
二月十五日	釧路町村議会議長会2月定例会
二月十八日	厚生文教委員会所管事務調査
二月二十二日	総務経済委員会所管事務調査
二月二十五日	川上郡衛生処理組合議会
二月二十六日	釧路北部消防事務組合議会
三月一日	議会運営委員会
三月四日	全員協議会
三月四日 ～十日	第一回定例会
三月七日	議会運営委員会
三月八日	議会運営委員会
三月九日	議会運営委員会
三月三十日	広報調査特別委員会
四月十二日	広報調査特別委員会
四月十五日	広報調査特別委員会



おめでとう！ 磯分内小学校新校舎での卒業式

編集後記

平成28年第一回定例会が3月4日から3月10日まで、7日間の日程で行われました。

池田町長の町政執行方針では、「最重要の懸案事項である食肉加工センターの設置は、多くの課題があるが、関係機関と緊密な連携を図り最大限の努力をする」と表明しました。そして、基本設計費で3,300万円が計上されました。

今議会の予算審査特別委員会では、10名が総括質疑を行いました。児童福祉や高齢者医療、介護について活発な議論が行われました。新年度が始まり、予算も決まりましたが、今年度も町民のみならず情報提供をする「議会だより」の充実をめざします。

(文責 黒沼俊幸)